

令和5年度 福岡市東保健所運営協議会議事録

1 日 時 令和5年8月25日(金) 19時～20時00分

2 場 所 東保健所1階 講堂

3 出席者 青柳委員、跡部委員、尾花委員、勝山委員、菊川委員、熊谷委員、
隈本委員、黒木委員、齊藤委員、田中委員、中田委員、原口委員、
藤野委員、松本委員、山中委員、山口委員
(以上16名、五十音順)

欠席者 古閑委員、中村委員、前山委員、眞崎委員

事務局 田中保健所長、大脇健康課長、平山地域保健福祉課長、吉田衛生課長

傍聴者 なし

4 開 会 定足数確認(委員20名中16名出席により会議成立)

5 所長挨拶 田中保健所長

6 委員紹介

7 保健所職員紹介

8 議 事

【議題1】会長及び副会長の選出

会長に尾花委員、副会長に菊川委員を選出

【議題2】令和4年度事業報告

大脇健康課長、平山地域保健福祉課長、吉田衛生課長が説明

〈質疑応答等〉

(委員) 資料10ページの6 母子保健(2)乳児家庭全戸訪問事業について、令和4年度の訪問数1,239人のうち、実際に会えているのはどの程度か。

(事務局) 当該事業の対象者は2,630人で、そのうち健康課での訪問数が1,239人。これ以外に地域保健福祉課から訪問している方が約20%である。その他新型コロ

ナ感染症の感染対策を理由として、訪問ではなく電話での対応を希望された方が約 23%、訪問も電話も拒否された方が約 6 %、他に里帰り出産や転居の方もいる。

(委 員) 拒否の方 6 %というのが気になるところであるが、実際に訪問して、何か問題があった家庭はあったか。

(事務局) 問題のある家庭についてはすぐに地域保健福祉課や子育て支援課と 3 課で連携をとって、必要な支援につないでいる。

(委 員) そのような世帯は数件あったのか。

(事務局) 件数ははっきりとは言えないが、兄弟児のいる方や特定妊婦として把握している方については地域保健福祉課からのフォローが当初から入っており、何か問題があれば早めに対応できる体制となっている。また、それ以外の世帯についても必要な支援を行っており、気になる世帯があれば迅速に対応をしている。

(委 員) 関係部署でしっかり連携して対応されているということなので、引き続き対応をお願いしたい。

(委 員) 資料 14 ページの健康づくり・介護予防について、よかトレ実践ステーションの登録団体が令和 3 年度から 4 年度にかけて 11 団体増えているが、コロナ禍であっても増加した要因は。どのようなアプローチをして、増加したのか。

(事務局) 公民館や集会所などに高齢者がレクリエーションなどで集っておられるという情報を校区役員や公民館等から伺って、そこによかトレの運動をお伝えし、継続していくことが介護予防に資するということでサポートして推進したということも多い。また、3 回コース・5 回コースで実施している高齢者を対象とした介護予防教室などを校区ごとのニーズを把握した上で行い、継続して取り組んでいきたいというところがあれば、よかトレ実践ステーションとして登録を進めるという場合もある。

(委 員) コロナの時期にフレイル予防という言葉も耳にすることも多かった。よかトレ実践ステーションへの登録をひとつの契機として、健康づくり活動に楽しく取り組んでいけるよう、今年度も拡大にしっかりと取り組んでいただきたい。

(委 員) 資料 17 ページの環境衛生関係施設に対する検査状況について。検査の結果、不適合となった施設には改善指導を行っているとのことだが、指導後に改善状況の確認を最後まできちんとされているのか。

(事務局) 例えば今回1施設で検出されているレジオネラ属菌については、検査で基準を超過していた場合、衛生課で最終的に陰性の確認ができるまで、必ず改善指導を行うこととしている。本来は、まず施設の運営を停止すべきではあるが、旅館など利用者の方にご迷惑がかかるため停止が困難な場合などは、毎日1回以上の浴槽水の換水及び清掃、2時間ごとの残留塩素濃度測定の実施などを指導している。このような指導を続け、自主検査も行ってもらった上で、最終的に陰性確認をして保健所に改善報告書を提出するまで指導を継続することとしている。

【議題3】 令和5年度主要事業

大脇健康課長、平山地域保健福祉課長、吉田衛生課長が説明

〈質疑応答等〉

なし

【報告事項】 新型コロナウイルス感染症対策について

大脇健康課長が説明

〈質疑応答等〉

なし

9 閉会

尾花会長より閉会の辞